

2023年2月24日
株式会社 A D E K A

A D E K A 韓国子会社の R&D を強化 ～華城（ファソン）で最先端の成膜・評価プロセス体制を構築～

株式会社 A D E K A（代表取締役社長：城詰秀尊）は、情報・電子化学品事業の研究開発機能を大幅に拡充するため、ADEKA KOREA CORPORATION「アデカコリア研究開発センター」を華城へ移転することを決定しましたのでお知らせいたします。

5G・ICT化の進展やデータセンターの拡張など、半導体の潜在需要は引き続き強く、今後、回復基調に入っていく見通しです。また、大容量化や消費電力削減などのニーズを背景に、半導体では微細化などの技術革新が進行しています。

A D E K A は先端半導体の技術革新をビジネスチャンスと捉え、技術進化の早い情報・電子材料分野でお客様と同じスピードでの開発を可能とするべく、最先端の評価設備と技術を保有してきました。こうしたなかで、当社は、ADEKA KOREA CORPORATION の新研究開発センターとして、京畿道華城市に、延床面積は 7 倍、クリーンルームは 2 倍となる施設を取得し移転することで、お客様への提案力や市場ニーズへの対応力を強化するものです。開設は 2023 年 8 月を予定しています。

A D E K A グループの半導体材料の研究開発体制は引き続き、尾久中央開発研究所（東京都）では、新規半導体材料の開発を進め、アデカコリア研究開発センターは、最先端の半導体成膜材料の評価・分析のスペシャリティとして機能します。

さらなる開発機能の強化に向けて、移転先のアデカコリア研究開発センターでは、ALD成膜・評価装置を増設できるクリーンルームスペースを確保し、2030年までに成膜・評価装置と人員を倍増させる計画です。

A D E K A グループは、経営理念を実現するためのありたい姿「ADEKA VISION 2030 ～ 持続可能な社会と豊かな暮らしに貢献する Innovative Company ～」の実現に向けて、盤石な研究開発体制を構築し、イノベティブな新製品創出に取り組んでおります。情報・電子化学品事業は、中期経営計画『ADX 2023』の最終年度である 2023 年度に、売上高 470 億円、営業利益 145 億円を目指してまいります。

◆ 「アデカ코리아研究開発センター」概要

施設名・所在地	アデカ코리아研究開発センター Hwaseong-si, Gyeonggi-do, Korea
建屋・主な施設	地上4階建 鉄筋 延床面積：5,322 m ² ※ 実験室、クリーンルーム、事務室・会議室、保管倉庫他
投資金額	総額約13億円
スケジュール	2023年8月 開設予定

※ 延床面積は現行の7倍。

◆ ADEKA KOREA CORPORATION 概要

社名	ADEKA KOREA CORPORATION
所在地	【本社および全州工場】 70, Wanjusandan2-ro, Bongdong-eup, Wanju-gun, Jeollabuk-do, Korea 【ソウル事務所】 4F, THE EXCHANGE SEOUL BLDG, 21, Mugyo-ro, Jung-gu, Seoul, Korea 【研究開発センター】 Suwon-si, Gyeonggi-do, Korea
代表者	代表理事 高橋 伸
資本金	150億 WON
事業内容	化学製品等の製造、販売
創立	1991年11月
在籍人数	234人（2022年3月末）

補足：ADEKA 情報・電子化学品事業について

半導体分野やディスプレイ分野で高度ICT社会の発展に欠かせない先端製品を提供しています。ADEKAグループ中期経営計画『ADX 2023』（2021-2023年度）では、「次世代ICT分野」を重要分野の一つと位置付け、最先端EUVフォトリソト向け光酸発生剤の生産能力増強（千葉/2021年）や、先端ロジック半導体向け材料の新プラント建設（台湾/2022年）、先端半導体メモリ向け高誘電材料の生産能力増強（韓国/2022年）など、積極的な投資を行っています。

以上

■本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社ADEKA 法務・広報部 総務・広報グループ Tel:03-4455-2803

